

石山寺への順道也、後鳥羽院の御製、

駒なべて打出の濱を見渡せば朝日にさはぐまがのうら浪

粟津の森 粟津の汀とも云也、湖の邊也、

關越て粟津の森のあはずとも清水に見えし影をわするな

勢多、長橋 但唐橋共云

粟津の南也、橋は西へかけたり、長九十六間あり、橋の上より左に石山寺

見ゆる、無雙の景地也、新古今雜の歌に、匡房、

真木の板も苔生ふばかり成にけりいく代へぬらん勢多の長橋

石山 觀音のれい地也、草創緣記佛欄の所有之、湖の邊、勢多より南也、此山のまへになりて、湖も

川流也、石山の東を南へ流たり、此流の末、櫻谷に流て、宇治へ出也、京より行程五里也、勢多石山

の中間十町ばかり也、藤原長能のうたに、

都にも人やまつらん石山の嶺にのこれる秋の夜の月

大津 宿あり、打出の濱より北なり、間十町計也、東は湖、西は山也、

三井寺 大津の奥也、園城寺と云也、草創緣記佛欄の所にあり、此所三井の水にて、王子のうぶ湯

をめさる、依之御井と書といふ節あり、

滋賀 唐崎 花園 大輪田山越といふは、相坂より北に如意越とて道有、志賀の山より西面に

如意寺とてあり、山越の東に園城寺有之、志賀と云は古都の跡也、

荒にけりまがの古郷冬くれば所もわかぬ雪のはなぞの

唐崎 志賀に續たる所也、此所にひとつ松といふあり、神木也、

真野 打出より、坂本へは中間三里計也、入江あり、坂本より北也、

唐崎や長柄の山にあらねどもをさ、波間の真野の秋かせ